

公募制自己推薦入試 過去問題 2024

経営学部

国際経営学科

※問題は2024年度入試のものです。

【事前課題】 経営学部 国際経営学科

プログラム部門〈マネジメント体験プログラム〉課題：

出願者の経験や実績等に関する成果レポート

字数：2,000 字程度（図表等は文字に含めない）

【小論文】

経営学部 国際経営学科

[試験時間 90分]

問題 1

アダム・スミスの「見えざる手」について記事を参考に100字以内で説明しなさい。

問題 2

「利益を優先し、不正に手を染める企業への戒めとして、いまも通用する一節であろう」という部分に関連して、日本で起こった企業の不正事件について具体的な事例を挙げ、どのような不正事件だったのか、またどのようにすれば不正事件を防ぐことが出来たのか、あなたの考えを400字以内で述べなさい。

問題 3

記事中の「資本家層がフェアに競争することにより、労働者に雇用という恩恵が及ぶ。」とは、どのような状態なのか、現在の社会に当てはめて、あなたの考えを200字以内で述べなさい。

管理番号：A-5

2024年度 神奈川大学 公募制自己推薦入学試験

【小論文】

経営学部 国際経営学科

【試験時間 90分】

「アダム・スミス」(1772年)
90「といえは」「経済学の父」で
あり、その主張は「見えざる手」。

スミスが読んでいたであろう蔵書
の一部が、東京大学の一室で保
管されている。かつて新書局編
集が英国で入手したもので、約300
冊を数える。関東大震災では教
員の学生が運び出し、何となく機
架を免れた。愚直な義経に歴が
刻まれている。

公平あつての「見えざる手」

アダム・スミス
国富論(1776年)

この部分は
著作権の都合上、
掲載できません。



スミスの
生涯

Table with 2 columns: Year and Event. Includes dates like 1723年 スコットランドで生まれる, 1740 オックスフォード大学で学び始める, 1752 同大学の道徳哲学教授に転任, 1776 『国富論』を刊行, 1790 病氣により67歳で死去.

【利己心の肯定にとどまらない】
『国富論』の世界とは

- 欧州各国がアメリカ大陸を植民地化したことについて、「愚かさか不正」が背景にあるとして批判
● 少数の個人による自由な行動が社会全体を危険にさらす場合には、自由を制限を加えるべきだと主張
● 雇い主たちには、結託し、労働者の賃金を引き下げようとする傾向があると指摘
● 報酬が高いと労働者が勤勉になるとして、賃金の引き上げを肯定
● 分業が進み、単純労働ばかりになると無知になりがちだとし、庶民への公教育の必要性を強調



山岡洋一訳のほか、岩波文庫の水田洋監訳・杉山忠平訳、中公文庫の大河内一男監訳など多数の訳書がある。...

「われわれが食事ができるのは、肉屋や酒屋やパン屋の主人が...」
「見えざる手」は、人間の利己心から生じる...
「見えざる手」は、人間の利己心から生じる...
「見えざる手」は、人間の利己心から生じる...

(出典：朝日新聞「明日へのLesson」第1週：ブック 公平あつての「見えざる手」『国富論』2023年8月3日(朝刊)P.23)
朝日新聞社に無断で転載することを禁じる。承諾番号(23-3404)